

太良

議会だより
News from the Assembly



太良町

平成28年度一般会計予算

65億5,334万7千円

contents 12月定例会

- 12月定例会 ……………2~5P
- 一般質問4人が登壇 ……………6~9P
- 委員会視察報告など ……………10~11P
- 議会の主な活動 ……………12P

発行／太良町議会 編集／議会広報編集委員会
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6
TEL 0954-67-2151

<http://www.town.tara.lg.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。

No.143

平成29(2017)年1月13日発行
初版発行／昭和56年8月1日

【皇帝ダリア(木立ちダリア)】

12月定例会審議結果

12月定例会は、事件議案12件、補正予算5件及び人事案件1件の計18件が町長より、また、発議1件及び意見書2件が議会より提案され、審議結果は次のとおりです。

賛成=○ 反対=× 欠席=欠 退席=退 ※議長は採決に加わらない。

議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	議決結果	議席番号											
			1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	議長	
第63号	太良町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定 農業委員会の委員定数等を定めるもの。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第64号	太良町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 農業委員会の委員報酬等の見直しを図るもの。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第65号	太良町税条例等の一部改正 軽自動車税のグリーン化特例の延長等の改正に伴い改正するもの。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第66号	太良町国民健康保険税条例の一部改正 所得税法等の一部改正に伴い改正するもの。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第67号	太良町子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正 小学生以上の子どもの医療費の助成方法を変更するため。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第68号	太良町農村公園(あいあい公園)の指定管理者指定 指定する団体 大川内区 指定の期間 平成29年4月から3年間	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第69号	太良町健康の森公園の指定管理者指定 指定する団体 太良町森林組合 指定の期間 平成29年4月から3年間	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第70号	竹崎城址展望台公園の指定管理者指定 指定する団体 森川造園 指定の期間 平成29年4月から3年間	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第71号	太良町特産品等展示販売飲食施設(たらふく館)の指定管理者指定 指定する団体 NPO法人 たらふく館 指定の期間 平成29年4月から3年間	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第72号	太良町活性化センター(ゆたたり館)の指定管理者指定 指定する団体 NPO法人 たらふく館 指定の期間 平成29年4月から3年間	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第73号	太良町特産品等展示販売飲食施設(漁師の館)の指定管理者指定 指定する団体 漁師の館運営協議会 指定の期間 平成29年4月から3年間	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

新年明けましておめでとうございます

町民皆様のしあわせを願い
議員全員で頑張ります。



12月定例会

会期/12月2日~9日(8日間)

平成28年度 一般会計の補正予算総額 6億562万9千円
補正後予算総額 65億5,334万7千円

一般会計の主な補正

歳入

- ◆農地等災害復旧事業費補助金 ……3,211万1千円
- ◆地域交通モデル事業費補助金 ……160万円
- ◆ふるさと応援寄附金 ……3億円
- ◆財政調整基金繰入金 ……△1億6,929万6千円
- ◆減債基金繰入金 ……△2,843万5千円
- ◆ふるさと応援寄附金基金繰入金 ……4億3,380万円

歳出

- ◆ふるさと応援寄附金事業(寄附金謝礼、インターネット広告委託料外) ……1億9,951万円
- ◆ふるさと応援寄附金基金積立金 ……3億円
- ◆地域介護・福祉空間整備推進交付金(町内2事業所の防犯対策強化事業外) ……97万5千円
- ◆簡易水道特別会計繰出金(建設費、公債費繰出分) ……2,209万4千円
- ◆地域共生ステーション安全対策事業補助金(町内3事業所の防犯対策事業) ……180万円
- ◆タマネギべと病緊急特別対策事業補助金(薬剤購入補助) ……80万3千円
- ◆消防施設整備費補助金(栄町、伊福地区防火水槽改修工事) ……73万7千円
- ◆農地等災害復旧費事業(農地26か所、道路6か所) ……3,751万円

一般質問

待永 るい子議員

今後の「しおまねき」の活用は

答▼一般公募による指定管理者の公募をする

議員 しおまねきはどのような目的で作られたのか。来ていない状況から目的に沿っていないと思うが。

企画商工課長 地場産品による加工品の製造・販売を行うことで地場産業の振興を図り町の活性化を推進することです。

議員 しおまねきの経営者7人を決めた目安は何か。

企画商工課長 7人の代表者のやる気と組織体制、事業計画などを総合的に勘案し決定しました。

議員 オープンから閉店に至るまでの毎月の売上目標と実数値は。

企画商工課長 年間目標を平均して月で割ると大体77.5万円になります。実際の売り上げは26年度が647.5万円、27年度が577.9万円、28年度が410.5万円とだんだん減少しております。

議員 初年度から二年目に入る時に売り上げ改善のための対策はとったのか。

企画商工課長 二年目に入る時は何もしなかったと報告を受けていますが、三年目に入る時は協議を致しております。

議員 売り上げが伸びないことに対して行政としては助言や指導をしたのか。

企画商工課長 売り上げが伸びないということ、何度となく社長と面談し助言も重ねております。

議員 しおまねきオープンにかかった資金はどれ

くらいになるのか。

企画商工課長 土地の購入9600万円、建設費1億1100万円、備品補助1270万円、オープンから閉店までの管理費合計額が776万円となっております。

議員 閉店後の管理費は。 **企画商工課長** 現在も町で管理して支出しております。

議員 道の駅と共に成長していくためにも内容の差別化が必要だと思いが。

企画商工課長 一定の差別化は必要だと考えております。

議員 6次産業化、販路開拓など色々なものをつけていくため、今後は専門的に学習した人やプロが運営すべきだと思うが。

企画商工課長 安定に運営できる管理者の選定に努めるつもりです。

議員 今後の施設活用を町長はどう考えているのか。

町長 今後は目的に沿った安定的に事業運営がなされるように専門的な方を全国から公募し、極力二の舞いを演じないような管理運営にしていきたい。

議員 何もなくても管理費は発生します。スピード感をもって決めていただくことを要望します。



しおまねき

一般質問

所賀 廣議員

定住促進住宅建設の今後の計画は

答▼PFI法に基づき平成30年度入居開始を目標に進めていく

議員 譲渡型住宅計画からPFI法による建設計画に転換した経緯は。

町長 建設や運転に民間資金の活用によって町の支出は一切なく、定住人口の増加に成功した事例も踏まえてPFI事業に

転換した。

議員 PFI事業の概要を説明していただきたい。

建設課長 建設予定地としては元果実協同組合跡地に鉄筋コンクリート造りで一戸70㎡程度の3LDK一棟20戸で2棟を計画、入居資格としては、子育て世帯、新婚世帯の中堅所得者を軸と考えている。

議員 亀ノ浦水源地上の駐車場、農地を購入して建設計画があったと思うが、その進捗を説明していただきたい。

議員 この土地に一戸建てを建てるとすると何棟ぐらい建てられるのか。

建設課長 何棟かは未定でPFI法も考えてその展開を見ながら検討していきたい。

議員 油津児童遊園地について、昨年の12月質問の中で高齢者向けの長屋等を別枠で計画しているとの答弁があったがその後どうなっているのか。

町民福祉課長 高齢者向けの共同宿舎については油津の太良高校校長宿舎跡地一帯に建設を検討中で、高齢者を中心にとれくらいの要望があるのか調査を行ったところである。住み慣れた家や地域

から離れたくないという意見が殆どであった。

議員 この跡地一帯だが宿舎を改修した後どのような活用を考えているのか。

財政課長 建物の利活用については、この地域一帯が将来的には高齢者住宅の構想があり短期的な契約や教職員に利用していただくことも視野に入れて考えていきたい。

議員 この建物周辺の殆どが町有地であり隣地の宅地や畑を購入の方向で考えると場所的にも居住条件としては価値あるところなのでぜひ前向きに考え、一戸建てで若者向けで10年間住んだら無償譲渡という計画もいと思うが。

町長 当初の計画では一戸建てで付近の監視ができる建物を計画していたが、高齢者の方の意見を

踏まえて一戸建てであるいは高齢者住宅にしても辛抱強く希望を聞きながら検討していきたい。

議員 周辺の農地と畑の部分だが、購入に向けての相談は行ったのか。

財政課長 所有者との交渉は行っていない。

議員 町道、里道に面しており快適な場所と思われるので購入に向けてぜひ前向きにお願いしたい。以上申し上げた3カ所とPFI事業による果協跡地への建設計画、ぜひ夢を描ける住宅建設が実現することを期待する。



果協跡地



一般質問

田川 浩 議員

ふるさと納税寄付金を区の要望事業に使えるコースを新設できないか

答▼ 新設は可能だが、町長おまかせコースで対応したい

議員 昨年度約2億2千万円だったふるさと納税寄付金だが、今年度も11月末で約4億3千万円が集まり順調だと聞く。その要因は。

財政課長 特産品を出品

してくれる協力業者と返礼品の数が増加したことと、全国的にこの制度が浸透してきたこと、それとネット上での丁寧でこまめな情報更新も要因の一つと思う。

議員 寄附金額が増えるのと地方交付税額の増減に影響するののか。

財政課長 影響はない。



議員 今は財政課内の対策室のような感じで職員2人と臨時職員数人で対応していると思うが、将来的に寄附金額が増えるのと直営でやるには限界があるのではないか。他の市町

を見ると協議会などをつくりそこに委託したりしているが、どのような体制づくりをやる予定か。

町長 今後寄附金額が大きくなれば、そういう委託という検討もしなければと考えている。

議員 広島県神石高原町の犬の殺処分ゼロ事業のように、返礼品ではない目玉事業を行っているところもあるが。

財政課長 そういう事業については、太良ならではの自然を生かしたもののや月の引力に関するものなどを検討しているが、結論には至っていない。

議員 リピーター獲得のため寄付者へのフォロー的な事業は。

財政課長 暑中見舞いハガキ配布、メールマガジンの発信などを行っている。

議員 東京都だけでも寄付者は一万人ぐらいいる。太良町ファンミーティングのようなものは開催できないか。

財政課長 現在、検討している段階だ。

議員 今後寄附金額を増やすためには、まず返礼品を出品してくれる協力業者を増やす必要がある。まだ詳細がわからない生産者もいるようなので再度の説明会開催が必要ではないか。

財政課長 昨年6月に説明会をやり、その後町報掲載や個別の相談などで、15業者から40業者まで増加した。今は年度ごとの説明会開催に向けて準備をしている。ただ、誰でもいいということではなく信頼性を保つために一定の基準は設けている。

議員 寄附金の使い道に

ついて、今は医療福祉の充実など6コースがあるが、行政区の要望事業など町民がより身近に寄附の有り難味を実感できるようなコースの新設はできないか。

町長 コース新設は可能だが、道路の補修など既存の助成事業に対する寄付金の充当が想定され、柔軟に組み合わせができる町長おまかせコースで対応したい。



ふるさと納税サイト 太良町特集ページのトップ画面

一般質問

竹下 泰信 議員

イノシシやアライグマなどの被害が常態化し、生息地域が拡大、具体的な防止対策は

答▼ 防除対策と捕獲対策を積極的に実施し、被害軽減に努める

議員 有害鳥獣の被害と捕獲の状況は。

町長 27年度の被害面積は151aで、23年度と比較すると7aの減。27年度の被害金額は、214万円で、23年度と比較すると、50万円程度減少。27



農林水産課長 猟友会の会員

議員 猟友会の活動は、有害鳥獣の駆除に大きな影響があるが、会員数や銃器登録者数など何人か。

農林水産課長 イノシシ用箱わなが23基、小動物用箱わなが10基。本年度にイノシシ用を3基、小動物用を7基購入予定で、貸出しは無料。

議員 町が保有している箱わなの基数と貸出料金は。

議員 年度のイノシシ捕獲頭数は468頭で、25年度と比較すると11頭増加。アライグマは45頭で、33頭の増加。アナグマは18頭で、10頭の増加となっている。

は39人、銃器登録者数は11人、狩猟登録者数は64人である。

議員 猟友会の会員は高齢化し、会員数も減少しているが、その対策は。

農林水産課長 猟友会の意見を聞きながら、会員の増加に努めたい。

議員 捕獲した鳥獣の処分は埋却だが、埋却場所や穴掘作業が重労働であるため、有田町では業者に処分を委託。一時預かり用の冷凍庫で保管し、業者が引き取りに来て、処分料金は130円/kg。狩猟者からの評判は良好。本町でも実現に向けて検討したらどうか。

農林水産課長 太良町、鹿島市、嬉野市で構成する鹿島藤津地域有害鳥獣広域駆除協議会等の検討を踏まえ、考えていきたい。

町長 イノシシ捕獲頭数は鹿島市で992頭、嬉野市で1503頭、3市町で年間約3000頭が捕獲されている。

3市町で捕獲鳥獣の焼却炉を建設することを県に要請している。今後も協議会で焼却炉の建設を進めていきたい。

議員 この協議会の負担金が97万5千円ほど計上されているが、使途及び活動状況はどうか。

農林水産課長 負担金は主に捕獲頭数に応じて3市町が負担し、狩猟者に捕獲報奨金として支払っている。鳥獣被害防止計画に従って活動しているが、内容の充実が必要。

議員 太良町、鹿島市、嬉野市は諫早市や大村市と隣接しているが、広域的な協議状況はどうか。

農林水産課長 佐賀、長崎、福岡県で組織する北部九州三県有害鳥獣広域駆除協議会があり、年1回佐賀県で開催され、9月10月をイノシシ捕獲月間として位置づけているが、市町レベルでの具体的な協議は行っていない。今後の課題である。

議員 イノシシの生息地域の

拡大により通学路でも出没している。子ども達への危険性の周知状況は。

学校教育課長 出没状況を保護者と学校、教育委員会等と共有し、登下校時には地区担当教諭が子どもたちの安全を確保する対応をしている。

議員 捕獲イノシシの解体、食肉処理技術の向上、普及等の状況はどうか。

農林水産課長 食肉解体処理施設等については、現在予定はない。ジビエ活用は各地域で研究されているが商品化までには至っていない。



イノシシ用箱わな



有害鳥獣対策柵

議会だより読みよんね!!



太良町議会だよりの評価
 (長所) ①表紙が美しく、たおやかな感じが好印象
 ②レイアウトも見やすい
 (短所) ①インパクトの弱さ
 ②レイアウトは見やすいが記録のような感じ
 ③一般質問は一つの課題を取りあげる
 ④余白効果は努力不足

※住民の皆さんは「議会だより」を選べない。わかりやすい紙面づくりに努力し、最終的には議員力アップに繋がっていききたい。

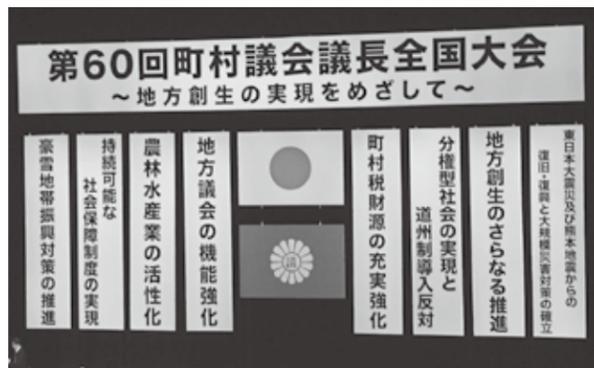
水害と闘った市長



10月27日、市町村行政講演会が佐賀市文化会館で開催されました。講師は兵庫県豊岡市長の中貝宗治氏で「私たちはどのようにして台風災害と闘ったか」をテーマに話をされました。
 命を守ると言う事を最優先し、避難勧告を躊躇してはならない。判断の遅れは命取りになる。何よりもまずトップとして判断を早くすることなど、トップとしての姿勢が大切である。被災者を励ますことはもとより、自衛隊や消防など応援隊がやって来た事を早く住民に伝え、住民が平静さを取り戻す様に努める。住民の苦しみや悲しみを理解している事を伝えるなど、情報を発信し続ける事が大切であるとの事でした。

広報研修会 10月11日 佐賀市マリトピア 講師 熊本大学客員教授 越地真一郎

地方創生の実現を目指して



第60回町村議会議長全国大会が11月9日に東京のNHKホールで開催された。地方創生の実現を目指してをメインテーマに討論が交わされた。少子・高齢化、本格的な人口減少社会が到来し、多くの町村は厳しい経済雇用情勢に悩まされて、地域の活力は減退しているところ確認。国と地域が一体となって本格的な復興への取り組みをし、町村の自治能力を高め、都市と農山漁村が共生する社会を進めていくことが重要であることを宣言した。
 地方創生のさらなる推進、町村財政の強化を期待することなど17件を決議し終了した。

自主性を大切に



11月8日、西部教育事務所、太良町教育委員会と大浦中学校に訪問しました。

習熟度に応じた少人数での授業や、グループ別に課題を与え議論の後に発表させるなど昔とは違い自主性を重んじた授業が行われていました。

提言へ向けて先進地訪問

経済建設常任委員会視察研修

本委員会は、平成28年11月15、16日に福岡市の大丸博多阪急・宗像市の道の駅で視察研修を行いました。研修目的は農業・漁業の生産・加工・販売（六次産業化）、生産者と消費者を繋ぐ小売業の視点からの現状と将来性・方向性について。都市部へのアンテナ機能を最大限に活かすアンテナショップ運営の注意点として、①大手と競合しないコンセプト、こだわり商品を持つこと②地域の強み、長所を前面に出すこと③生産者の利益を最優先すること④交流事業、プロモーション等イベントの実施で情報の拡散を徹底すること⑤コンサルタントの活用、アピールポイントの明確化。これまでは人気商品を陳列するだけで良かったが、現在の消費者心理として、核家族や単身者の増加で消費目的がはっきりして安くても買わない。安心・安全、軽薄短小、有機無農薬、新鮮低価格、少量多品目がキーワードで基本、正直に商売して消費者と信頼関係を築く事が大事であると話されました。
 本町の特性として一次産業の持続・発展なくして町の将来はない、流通・販売・消費の現場から見た生産現場の方向性を研修することで町の元気にいかに繋げるか、可能性のある限り太良町創生に挑戦する必要性を感じた視察研修でした。



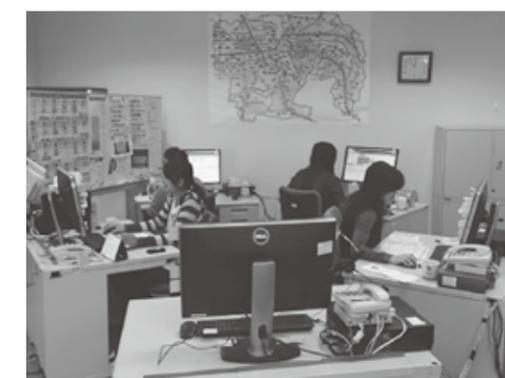
博多阪急にて

総務常任委員会視察研修

本委員会は、平成28年11月16日から18日まで八女市・長島町・霧島市で視察研修を行いました。
 福岡県八女市「地域公共交通について」
 路線バスと乗り合いタクシーの両方をつまぐ運行し、お互いの事業を助け合い補い合う事で市民サービスの向上に努力されています。太良町も住民の皆さまが車に乗れなくても安心して生活できるよう公共交通の整備が急務であり、スピード感を持って実行してもらいたい。
 鹿児島県長島町「ふり奨学金制度について」
 島内の高校が閉校になり、鹿児島市内への通学を余儀なくされた子供たちに超低金利の奨学金を設立。大きくなって長島町へ帰ってくるようにとの願いを込め、出世魚のふりにちなみ「ふり奨学金制度」と命名。全ての町民が平等に教育を受ける事が出来、有能な人材を町外へ流出させない為にも給付型奨学金制度は必要ではないかと感じました。
 鹿児島県霧島市「地域包括支援事業について」
 ボランティア団体の育成に力を注ぎ、介護保険ボランティアポイント



霧島市での視察の様



八女市ふるさとタクシーの受付

制度等により楽しく活動しながらポイントを貯め、介護保険料の負担軽減に繋がる事業として喜ばれている。太良町も住みなれた地域で暮らし、健康寿命を延伸できるような事業を展開してもらいたい。

